

情報教育演習II 第4回

「HTML(3)」

前回、前々回に引き続き、Webの中心的な技術「HTML」について、実習をします。

HTML(3)

1. [同じページへのリンクをつくる](#)
2. [表をつくる](#)

今回の課題

1. [HTMLファイルを作成する](#)

同じページへのリンクをつくる

ページが長いときなどに、特定の位置に名前をつけておくことで、そこにリンクすることができます。

このページにも、ページ内の別の場所にジャンプするリンクがあります。見出しの右端のほうにある、「」ををクリックすると、ページの最上部や最下部にジャンプします。

リンク先に名前（アンカー）をつける

特定の位置にリンク先として名前（アンカー）をつけるには、**a要素**と**name属性**を使います。

```
<a name="位置名">...</a>
```

a要素のname属性に、位置な名前を指定します。a要素には含まれた部分に名前がつくことになります。

アンカーに使えるような文字には、次のような制限があります。注意してください。

- アルファベット(大文字小文字の区別あり)
 - ひと文字めはアルファベット
- 数字(0~9)
- 記号(ハイフン「-」、アンダースコア「_」、コロンの「:」、ピリオド「.」)

注意：見出しの部分にアンカーをつける場合

見出しの部分にアンカーをつける場合には、タグのの位置に注意してください。必ず、**見出し要素の中にアンカーをつける**ようにしてください。

```
正解 : <h2><a name="midashi">みだし</a></h2>  
間違い x : <a name="midashi"><h2>みだし</h2></a>
```

特定の位置へのリンクをつくる

名前をつけた位置へリンクするには、リンクの位置の名前のまえに「#」をつけます。

```
<a href="#位置名">...</a>  
<a href="リンク先のURL#位置名">...</a>
```

「#」を位置名の前につけることで、リンクすることができます。リンク先へジャンプすると、名前をつけた位置がブラウザの最上部に来るように表示されます。

ほかのページの中での特定の位置へリンクするには、そのページのURLと「#」+位置名を指定します。

```
<ul>
  <li>
    <a href="#hoge">はじめてのHTML</a>
  </li>
  ...
</ul>
...
...
...
<h2>
  <a name="hoge">はじめてのHTML</a>
</h2>
```

[次へ](#)進んでください。

表をつくる

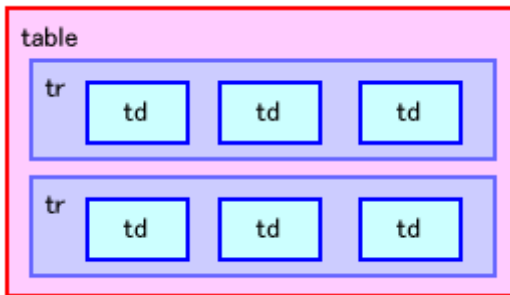
表（テーブル）を作るには、**table要素**、**tr要素**、**th要素**、**td要素**を使います。

```
<table>
  <tr>
    <th>...</th><th>...</th>
  </tr>
  <tr>
    <td>...</td><td>...</td>
  </tr>
  ...
</table>
```

HTMLでは、表全体をtable要素で示します。table要素の中は、行ごとに表現します。tr要素は行を示します。

各行には、表のセル（表の中のひとつの項目）をtd要素で示します。必要な数だけ、td要素を使用します。

表の見出しになる項目は、th要素を使います。th要素の内容は、太字で中央揃えで表示されます。



```
<table>
  <tr>
    <th>見出し1</th><th>見出し2</th><th>見出し3</th>
  </tr>
  <tr>
    <td>データ1</td><td>データ2</td><td>データ3</td>
  </tr>
  <tr>
    <td>データ4</td><td>データ5</td><td>データ6</td>
  </tr>
</table>
```

表の外枠の幅を指定する

```
<table border="枠の幅">...</table>
```

table要素に、**border**属性を設定すると、表の外枠の幅を設定できます。幅に0を設定すると、枠は表示されません。

表の幅を指定する

```
<table width="表の幅">...</table>
```

table要素に、**width**属性を設定すると表の幅が設定できます。ピクセル値（画面を構成する点の数）やパーセンテージ（%）で指定します。ウィンドウの大きさに合わせて表の幅を動かしたい場合は、パーセンテージを使うとよいでしょう。

```
<table border="2" width="80%">...</table>
```

セルの大きさを指定する

```
<th width="幅" height="高さ">...</th>
<td width="幅" height="高さ">...</td>
```

セルの幅を設定するには、th要素やtd要素に**width**属性を設定します。また、セルの高さを設定するには、**height**属性を設定します。どちらもピクセル値を指定します。設定すると、そのセルだけでなく、幅の場合は同じ列のすべてのセルに、高さの場合は同じ行のすべてのセルに設定が影響します。

```
<table border="2">
  <tr>
    <th width="50" height="20">見出し1</th><th>見出し2</th><th>見出し3</th>
  </tr>
  <tr>
    <td>データ1</td><td>データ2</td><td>データ3</td>
  </tr>
</table>
```

セルとセルを連結する

```
<th rowspan="縦方向の連結数">...</th>
<th colspan="横方向の連結数">...</th>
<td rowspan="縦方向の連結数">...</td>
<td colspan="横方向の連結数">...</td>
```

rowspan属性や**colspan**属性を指定すると、そのセルから指定した数だけのセルが連結され、ひとつの大きなセルとしてまとめられます。

連結される位置にある、tdやth要素は入力しません。

例えば、次のような表の場合は、

学生		クラス
c2092001	兵庫	A
c2092002	加古川	

次のように指定します。

```
<table>
  <tr>
    <th colspan="2">学生</th><th>クラス</th>
  </tr>
  <tr>
    <td>c2092001</td><td>兵庫</td><td rowspan="2">A</td>
  </tr>
  <tr>
    <td>c2092002</td><td>加古川</td>
  </tr>
</table>
```

セルとセルの間隔を指定する

```
<table cellspacing="間隔">...</table>
```

cellspacing属性を使うと、セルとセルの間隔を設定することができます。同時に、セルと表の外枠との間隔も設定されます。表全体の枠線を太くするときにも使えるでしょう。

セルと内容の間隔を指定する

```
<table cellpadding="間隔">...</table>
```

cellpadding属性を使うと、セルとその内容との間隔を設定することができます。セルの枠線とセルの中の文字にスペースを作りたいときに、使います。

```
<table cellspacing="4" cellpadding="8">...</table>
```

[次へ](#)進んでください。

課題: ネット上の記事へのコメントでHTMLファイルを書く

前回と同様に、HTMLファイルを作成していきます。HTMLファイルの内容は、「インターネット上のあらゆる記事へのコメント」とします。

1. インターネット上の記事にコメントをする

(1) 情報を集める

自分が現在興味のあるテーマについて、インターネットからニュース等を探して、**自分が興味を持った記事を1つ集めなさい**。

やり方は、第3回の課題と同じです。[第3回の課題の説明](#)を見てください。

(2) 情報にコメントをつける

記事を探したら、次の順にコメントを作りなさい。なお、文字数は、**目安として「200文字以上」と**しますが、内容はささいなことでもかまいません。

やり方は、第3回の課題と同じです。[第3回の課題の説明](#)を見てください。

2. HTMLファイルの作成

第2～3回の課題で作成したファイルをもとに、今回の課題を作成します。

(1) ファイルのコピー

第3回の課題のファイルをコピーして、新しいファイルを作ってください。ファイルには、次のようなファイル名をつけてください。

- 「0511」+「学籍番号」+「.html」(半角文字で！)
(学籍番号がC2092000の場合、ファイル名は 0511c2092000.html)

(2) HTMLのレイアウト

作成するページのレイアウトは、図のようにします。サンプルのイメージがありますので、下のリンクを参考にしてください。

-  [\(レイアウトのイメージ\)](#)

作成するときには、次の点に注意してください。

- タイトルをつける(「の雑記」など、自由に決めてよい)
 - **title要素と、ページの中にタイトルを設定しておくこと!**
- 目次をつくる
 - 3つのコメント(第2～4回)へジャンプできるリンクをつくる
- 第2回のコメントは、第2回の課題のファイルからコピーし、他のコメントと同じになるようにタグを付け直す
 - それぞれのコメントの最後には、ページのトップ(一番上)にジャンプする「トップへ戻る」というリンクを作る
- プロフィール(自己紹介)をつくる
 - 表を使って、自己紹介をする(詳しい説明は下で)
 - プロフィールの最後には、ページのトップ(一番上)にジャンプする「トップへ戻る」というリンクを作る

ページのタイトル

目次

- ・第4回のコメントへのリンク
- ・第3回のコメントへのリンク
- ・第2回のコメントへのリンク
- ・プロフィール

第4回の課題のコメント

...

[トップへ戻る]

第3回の課題のコメント

...

[トップへ戻る]

第2回の課題のコメント

...

[トップへ戻る]

プロフィール

...

[トップへ戻る]

連絡先・著作権の情報

(3) プロフィール（自己紹介）

普通の自己紹介ではなく「**10の質問**」という形式にします。ただし、必要以上に個人情報（住所、電話番号、携帯のメールアドレスなど）を記載しないでください。

- 例
 - [100の質問リンク集](#)
 - [便利な100の質問リンク集](#)
 - そのほか「10の質問」や「100の質問」というキーワードで検索してみましょう

次のように、表（table要素）を使って作成してください。

への10の質問	
質問 1 ...	回答 1 ...
質問 2 ...	回答 2 ...
...	...
質問 9 ...	回答 9 ...
質問 10 ...	回答 10 ...

(4) HTMLファイルの作成

第2回から今回までに説明した、HTMLの技術を使って、自分のコメントからHTMLファイルを作成してください。

注意点は、次のとおりです。

- 情報源へのURLは、その情報源にアクセスできるようにリンクにすること

- [第3回の課題で説明した注意点](#)を守る
- ファイルの最後にある、連絡先の「更新日」の日付を更新する

```
<address>
  作成日: 2010-04-20; 更新日: 2010-05-11<br>
  Copyright (C) 2010 兵庫太郎, All rights reserved.<br>
  このページに関する問合せ先:<br>
  E-Mail. <a href="mailto:c2092000@ed.hyogo-dai.ac.jp">c2092000@ed.hyogo-dai.ac.jp</a>
</address>
```

3. 課題のタイトルとファイル名

- ファイル名: 次のとおりとします。
 - 「0511」+「学籍番号」+「.html」(半角文字で！)
(学籍番号がC2092000の場合、ファイル名は 0511c2092000.html)

提出方法

作成したファイルを、次の場所にコピーして提出してください。

- 「マイコンピュータ」 「Fsの資料・課題」 「kawano」 「提出」

提出期限

- 原則として、**平成22年5月18日13時**までとします。
- 期限以後は、特別な理由がない限り、提出を受け付けません。
- 課題のやりなおしは、提出期限まで受け付けます。